

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす



2017-2018年度 RI会長 イアン H. S. ライズリー氏

例会予定 8月 9日 月間に因んで 松坂興一会員増強委員長
8月16日 休会

VOL. 55 No. 5(通算No. 2524)

2017年 8月 2日(水) 例会プログラム

- 点 鐘
- 君が代・ロータリーソング
- ビジター紹介
- 出席報告
- S A A 報告
- 諸 報 告
- 幹 事 報 告
- 会 長 挨拶
- 研究会報告・新会員卓話(内村・大堀 各会員)



2017-2018年度 会 長 石 塚 克 己 幹 事 倉 持 功 典

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

例会報告 VOL. 55 No. 4 (No. 2523) 7月26日(水)曇り (司会 大塚令昌委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎研究会報告

諸 報 告

国際奉仕委員会 鈴木勝久委員長

今年度は、オーストラリアツウンバロータリークラブへの派遣事業はありませんが、受け入れ事業については、例年通りと考えております。

幹 事 報 告 倉持功典幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 竜ヶ崎RC 8月8日(火) 18時30分～ 松泉閣

8月22日(火) 咲や姫(ガバナー公式訪問)

常総市役所より、ミャンマーへの戦没者慰霊訪問のご案内が届いております。回覧します。

第14回日韓親善会議の募集申し込みが7月末まで延長となりました。

会 長 挨 拶 石塚克己会長



梅雨明け宣言がなされました。大和言葉でいう『雲の峰(夏空に張り出した入道雲)』『夏木立(炎天下、木々の下の涼)』とはほど遠い、梅雨の戻りになっております。何れにしても、数日後には夏本番を迎えることとなりましようが、会員の皆様方におかれましてはどうぞ、万全な体調管理を願います。私の場合も趣味の除草剤散布や刈払機での草刈りも、気温を見て、行っていきます。

例年、第4週はツウンバ交換学生の説明会及び出国あいさつが恒例となっておりましたが、鈴木勝久委員長の報告どおり、今年度は派遣学生はおりません。ただ北村英明会員のご紹介の候補者が居ましたが、1名では不安だということで、今回は見送りになりました。

過去にも、派遣のない年度、受け入れのない年度はありました。私が国際奉仕委員長のときには、受け入れがなかった反面、オーストラリア・ツウンバロータリークラブからガバナー経験者のエロルさんご夫妻が当クラブを訪問、秋田さんと日光や笠間を観光案内し、第1週でも触れたように大阪国際大会プロジェクトがありました。

ただ、受け入れという点で、その反動といいましょうか、次の年度、会長エレクトの染谷秀雄さんが委員長の時きは、12月ぎりぎりになっての連絡で何と5名。しかも5名が底抜けに明るく、ホストファミリー、委員会の皆様にとりましても“てんやわんや”の2週間だったことと思います。那須の温泉では露天風呂の池に飛び込んだり、半袖薄着で雪の中に飛び込んで行ったり、とにかく元気な学生たちでした。

水海道クラブとしての国際奉仕活動はツウンバ交換学生事業にとどまらず、海外ロータリアンとの交流や瀬戸さんが PETS で発表した『ロータリー国際奉仕活動の歴史』紹介なども大変意義あることでもあります。まだ始まったばかりではありますが、国際奉仕委員会の皆様、どうぞ残り11か月、宜しくお願いいたします。

本日は2820地区研究会報告となります。

こうした研究会に出席するたびに、いつも思うことがあります。「茨城県内、北は太子、南は鹿島、西は古河、県内各地から多忙の中、よく集まるなあ、ロータリーの求心力は凄い」と。

自らの職業を全うすることが地域社会への奉仕につながるというロータリーの考えがありますが、ロータリーの研究会や研修会では奉仕という哲学を更に深く研究、議論し合って行きます。クラブ例会での報告のために、睡魔と闘い、メモを取り、まさに『ロータリーは学びの場をたくさん提供してくれる団体でもある』そう感じて

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

おります。

つい先日、1年間の会長職に就いたことについて取引先の方から「本職以外に大変ですね。僕にはそんな暇がありません」というねぎらいの言葉を頂きました。「事業者、職業人として地域に生きており、地域に生かされている。ならばこれも本職の一つと考えざるを得ないのかな」そう、お答えしました。

それでは報告をどうぞ宜しくお願い申し上げ、会長挨拶といたします。

追伸事項

時間が余りましたので、その後の九州北部豪雨災害状況について報告いたします。

3年前の東北関東豪雨での被災クラブとして甘木ロータリークラブ事務局にお見舞いの電話を入れました。遠方からのお見舞いの電話に大変、驚いていました。判明したことは63名の会員中、15名が床上床下浸水。山村部の会員先工場はかなりの被害になっているようです。7月5日通常どおり、新年度例会を行うも、午後になると、経験したことのない雨量になり、警報が発令。12日の例会は公式訪問事前準備例会でしたが、諸般の事情を鑑み、休会。19日の公式訪問はぶっつけ本番となったようです。

甘木ロータリークラブのホームページに数日前に以下のメッセージが掲載されておりました。

・・・今回の九州北部豪雨において、関係各位及び全国のロータリークラブの方々におきまして、激励の支援金、見舞金のお申出をいただき、大変感謝しています。

皆様の御支援が被災された人々を励まし、勇気づけています。ありがとうございます。早期復興に向けてがんばります・・・

また、被害が2番目に多かった日田市。その中で日田中央ロータリークラブフェイスブックには以下の記事が掲載されております。

・・・7月5日(水)九州北部を襲った記録的豪雨。日田中央ロータリークラブ 社会奉仕委員会 森山委員長の呼び掛けのもと、7月16日(日)にボランティアに参加し、片付けなどの作業を行ってきました。派遣先は、日田市大鶴地区。36度を越える暑さの中、休憩をとりながら、朝9時すぎから午後3時過ぎまで作業を行いました。この日は、日田市内外、700名を越える多くの方がボランティアに参加していました。またロータリアンの仲間も各地から駆けつけてくれました・・・

茨城2820地区から義援金の要請もありました。加えて今後、水海道クラブとしての義援金支援をどうするか、早速8月第1週理事役員会にて検討したいと思います。

研究会報告

ロータリー財団研究会 二本松恭行委員長



月 日 2017年7月8日(土)

時 間 午前 10 時 30 分 開会

午後 3 時 00 分 閉会

場 所 ダイヤモンドホール

保延ガバナナーより地区役員及び地区R財団委員紹介の後、藤居R財団総括委員長より、補助金を使った事業の講演がありました。

昼食後、野間資金推進委員長より「寄付金及びシェアシステムについて」、堀ポリオ委員長より「ポリオについて」、斉藤PHSコーディネーターより「ポール・ハリス・ソサエティについて」、岩崎補助金委員より「地区補助金申請状況報告」、新井補助金委員長より「地区補助金について」、補助金制度について 2013～2014 年度(長谷川年度)より「未来の夢計画」として新しい補助金制度がスタートし、保延年度(2017～2018)で5年目となります。

補助金制度の主な改正点は3点でした。

① 数多くの補助金制度がグローバル補助金と地区補助金の2つに集約されました。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

- ② 地区補助金の使用限度額が大幅に増加しました・・・DDFの20%⇒50%
- ③ 地区補助金については、計画年度・実施年度に分かれて、年度一括申請(一回限りの申請)となりました。
具体的には
 - ・保延年度は白戸年度中に計画・承認されたプロジェクトの実施年度(2017-2018)
 - ・高橋年度は保延年度中に計画・承認されたプロジェクトの実施年度(2018-2019)となります。

地区補助金の概要

① 対象プログラム

- ・人道的／奉仕プロジェクト
- ・奨学金(地区として地区補助金での対応見合わせています)
- ・VTT(“ ”)

地区補助金は小規且短期的プロジェクトに使用でき、比較的自由に利用できる資金使途にも制約の少ない制度です。

② 申請の条件

- ・プロジェクトはDDFと違い6つの重点分野に該当する必要がありません。
- ・ロータリーのない国(地域)でのWCS対応が可能です。
- ・TRFの定める「授与と受諾の条件」の制約事項を順守してください。
- ・地区の定めるガイドラインを守ってください。

佐藤G・G担当より「グローバル補助金について」

グローバル補助金について、2か国以上のクラブ・地区が6つの重点分野に関するプロジェクトを共同提唱し立案実施する国際プロジェクトが授与されます。

① 対象プログラム

- ・人道的／奉仕プロジェクト
- ・奨学金
- ・VTT

② 申請の条件

- ・3つのプログラム取組みに当たっては、ロータリー財団の使命に沿った6つの重点分野のいずれかに該当し、大規模(30,000ドル以上)かつ持続性・測定可能効果が期待できるプロジェクトに使用できます。
- ・DDF提唱者寄付に対しWF同額・現金寄付に対し1/2がマッチング
- ・申請は随時。
- ・参加資格(MOU)の取得が必要条件(毎年3月開催の資金管理セミナーへの出席)

大堀奨学金担当より「ロータリー財団奨学金について」

鯨岡VTT担当より「VTTについて」(職業研修チーム)

VTTの事例・・・当地区では 3410地区(インドネシア ジャワ州) 茨城大学による農業研修チームによりイチゴ栽培技術支援を決定

大津資金管理委員長より [参加クラブ認定証授与](#)

野間資金管理委員より地区委員による卓話について [10月から出前卓話を受け付ける](#)

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

青少年奉仕研究会 廣井 信委員



去る7月15日、水戸の三の丸ホテルで行われました2820地区青少年奉仕研究会のご報告を申し上げます。

午前10時30分に保延(ほのべ)ガバナーの点鐘により開始しました。その後地区委員の紹介等が行われ、青少年奉仕総括委員長の稲本様より開会の挨拶、および本研究会の趣旨説明が行われました。その中で「地区に新たなインターアクトおよびローターアクトの創設を行いたい」という事、並びに「事業の事例紹介を各クラブの参考として欲しい」旨のお話がありました。

続いてパストガバナーである清水清(しみず・きよし)青少年奉仕支援アドバイザーから「青少年の健全育成」という題で講演がありました。

まず初めに、青少年奉仕は「よりよい世界をつくるには人づくり」の観点から、2010年に社会奉仕から独立させたものであり、RIとしても非常に重視しているというお話がありました。

続いてインターアクトおよびローターアクトの歴史的流れのお話がありました。いずれも若いリーダーの育成と、今後社会奉仕を目指す人達に高い道徳と相互交流の機会を与えるものであり、ロータリークラブと密接な関係があると説明がありました。

続いてライラの説明の説明に移りました。ライラは、Rotary Youth Leadership Awards の略であり、14歳から30歳までの若い世代を対象にした、人間形成のプログラムであるとの話がありました。

非常に有意義なプログラムである反面、様々なリスクも併せ持つとの説明がありました。ロータリアンとして参加する場合は物理的な事故はもちろん、セクハラ等の事案を生じないよう、細心の注意を払う必要があるとの事でした。

続いてインターアクトの活動紹介、昼食を挟み午後はローターアクトの活動紹介が行われました。いずれも会員が少なく、この会員増強が目下の課題であるとのことでした。

さらに青少年交換プログラムの事例紹介が行われました。3名の学生が報告に立ったのですが、いずれも有意義な留学生活を送ったようで、非常に印象に残りました。

最後は青少年交換プログラムの募集およびライラのPR等が行われました。

閉会セレモニーでは倉沢(くらさわ)青少年奉仕カウンセラーの総評、清水アドバイザーの所感を頂戴し、保延ガバナーの点鐘により閉会しました。

非常に勉強になった一日でした。

クラブ奉仕研究会 染谷秀雄会員組織委員長



7月17日 水戸三の丸ホテルにおいて、保延ガバナーはじめ地区役員出席のもと、クラブ奉仕研究会が行われました。

初めに、RI2017-2018年度 第一ゾーン 公共イメージコーディネーターの吹上RCからお越しの鈴木 秀憲様より「ロータリーの基礎と世間への広報」と題した講演を聴き、その後、2820地区 公共イメージ委員長及びロータリー情報委員長からのお話がありました。講演会でロータリーとは、また、ロータリーの目的とは何か、というお話があり、定款にはいろいろ難しいことが書いているが、簡単に言えば、ロータリーとは自分自身の職業を磨きながら地域社会で奉仕することであり、ロータリーの義務は、会費の納入、出席、ロータリーの友の購読である、また、ロータリーの目的は奉仕することにあると次の通りお話をされていました。

- | | |
|-------|----------------------------|
| クラブ奉仕 | 仲間を増やし共に奉仕する |
| 職業奉仕 | 自分自身と自分の職業を磨くこと |
| 社会奉仕 | 地域社会で奉仕すること |
| 国際奉仕 | ロータリーが持つ世界ネットワークを通じて奉仕すること |

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

これらのことを踏まえ、地域のために奉仕活動を行い、ロータリークラブというものを知っていただくことが重要であり、認知度を向上させることにより、会員増強にも繋がるのではないかとのことでした。

講演終了後はロータリー情報委員長より昨年、県内クラブから回収した戦略計画をもとに戦略計画の策定の内容などについての話がありました。

戦略計画は先人達が築いてきた歴史があり、変えるべき事と、変えてはいけない事を明らかにする作業こそが戦略計画の策定であるとのことで、特にクラブの未来像として会員増強を重点項目に入れているクラブが全体の83パーセントで、その中でも会員数30名未満の全てのクラブが会員増強を重点項目として掲げているという結果であったそうです。

また、会員増強において居心地の良いクラブで会員の満足度は高いのに、なぜ会員が増えないのか、それはもしかすると、既存会員にとって居心地の良いクラブは入会者にとって入りやすいとは限らないのでは、もう一度クラブを見つめなおし、作り変える必要があるのではないかと、クラブの現状を把握し、クラブの未来を描くことこそ戦略計画であるとの内容でした。

職業奉仕研究会 山野井周一委員長

平成29年7月9日(日)10時～15時 三の丸ホテルにおいて

始めに司会の挨拶、開会のことば、点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」と続き、保延ガバナーの挨拶がありました。

研修リーダーの倉沢様のあいさつ、その後職業奉仕カウンセラーの山崎様より講話がありました。

・ロータリーの父が4人いる！

- ① ポールハリス 創立の父
- ② アーチ・クラフ 財団の父
- ③ ドナルド・カーター 社会奉仕の父
- ④ アーサー・フレデリック・シェルドン 職業奉仕の父

・1989年の会議の話

- ・シンガポールに於いて、女性の入会承認
- ・超私の奉仕・・・ロータリーの第一のモットーとする
- ・職業奉仕活動について 木村職業奉仕総括委員長
 - ・職業を通じて、社会に奉仕活動をすることといわれた
 - ・倫理運動についての話があった

職業奉仕の事例発表 古河東ロータリークラブ

“豊かな心・育成事業” 2008年11月28日 古河第一高等学校が初めて現在も続けられている。

今は・・・高校 2校、中学校 2校

会員12名が講師になり、道徳・人生観・幸福感・医者・弁護士になるステップ等、内容は多岐にわたる。

講演後は、例会に先生・生徒2名が参加し、感想を発表するそうです。

グループごとにミーティング

A～Hの8グループに分かれ、「今年度の職業奉仕活動について」約1時間話し合った。

私はDグループ。北茨城・勝田・水戸東・下館・土浦南・水海道・玉造RCの7名でした。

まとめとして、

1. 会社・学校・施設の見学
2. 講演会の開催・土浦南はインターアクトを共同で！
3. 職業倫理向上で、会社・参加団体が表彰する。費用は会社が支払う？
4. 玉造は、会員数も少なく年金生活者が多いので、社会奉仕と共同で活動し、老人ホームに行く。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

- ・生け花
- ・押し花
- ・書道
- ・歯医者無料奉仕

*地のクラブ活動を通じて、自分のクラブ活動にどう取り入れていくかを話しました。

・例会で職業奉仕を学び、卓話にて会員が学ぶというまとめになりました。結果として、例会出席をしないとダメという事で、私としては反省すべきと思いました。

グループごとの発表がありました。

総評 保延ガバナー

古河東ロータリークラブの出前講座が子供たちに大きな夢を醸し出すきっかけになればと思うと言われました。

木村総括委員長

各会員の話しを良く聞き、失敗した話を活用する。四つのテストを活用する。自分の職業の質を高め、お客様に奉仕し、会員に広める。

高橋ガバナーエレクト

成果が見えないが、自分が勉強し雇用満足度を高め、PDCAを廻して進める。

勉強不足を痛感する一日でした。

出席報告 雨谷道夫副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
52名	35名	17名	0名	0名	67.31%

ニコニコボックス 大串 卓委員

入金計 ¥12,000 累計 ¥282,000

ようやく1か月が終わります。海老原さんフェイスブック開設おめでとうございます。 石塚(克)会員

今日は、カレーで嬉しいです。 倉持会員

研究会行ってきました。 染谷(秀)会員

会計業務皆様にお世話になります。 古矢会員

とても暑くなってきました。お身体にご自愛下さいませ。 北村(英)会員

宜しく。 島田・斎藤 各会員

先週お休みしました。 熊谷会員

例会欠席しました。すみませんが本日早退します。 海老原会員

例会欠席しました。 石塚(利)会員

会報委員会 福田克比古委員長 荒井孝典副委員長 内村尚史委員

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

サミュエル F. オオリ 国際ロータリー会長エレクトに関する重要なお知らせ

2017年07月18日更新【国際ロータリーより】

親愛なるロータリアンの皆さまへ

この度、国際ロータリー会長エレクトのサム F. オオリ氏が、以前より予定されていた手術の後、合併症により米国時間の昨夜お亡くなりなられたことを、ここに謹んで皆さまにお知らせいたします。

突然の悲報を受け、ノラご夫人、ご遺族、ご友人の皆さまに哀悼の意を捧げる次第です。

オオリ氏は多くの意味で特別な人でありました。あまりにも急な出来事であり、ロータリーだけでなく、オオリ氏の地元そして世界にとって大きな損失となります。オオリ氏の生涯を称えるための特別な計画を立てておりますが、詳しくは追って皆さまにお知らせいたします。

後任者に関する手続き、またオオリ氏に捧げる追悼基金について、詳細をあらためてご連絡させていただきます。まずはいち早く皆さまにこの訃報をお知らせするべく、本メッセージをお送りいたします。

心を込めて

国際ロータリー会長

イアン・ライズリー

ロータリーの 2017-18 年度指名委員会は、8月上旬に開かれる会合で新しい会長エレクトと会長ノミネーを選出することになります

